

Cinema Bravo!

映画祭プログラム発表!

今年の映画祭は 11 月 22 日(土)~30 日(日)です!

第 18 回映画祭 TAMA CINEMA FORUM は 11 月 22 日(土)から 30 日(日)の期間、多摩市内のやまばとホール、パルテノン多摩大小ホール、ベルブホール、ヴィータホールを会場に行われます。

また、第 9 回を迎える TAMA NEW WAVE も 2 次審査通過 5 作品が決定いたしました。

今年のヒット作から、多摩地域ではなかなか見ることのできない作品まで、幅広いラインナップの作品を上映いたします。

ご期待下さい。プログラム一覧は次のページをご覧ください。

今年のいち押しは、何といても『ブラボー国際映画祭』!

TCF でおととしから始まった「ブラボー映画祭」今回は「ブラボー国際映画祭」と名前を変えてさらにスケールアップした企画内容でお送りいたします。

第 1 部は、ブラボー国際映画祭特別賞と題しまして、映画評論家、そしてシベリア超特急シリーズの監督として活躍し、今年 6 月に逝去された水野晴郎氏を追悼したトークを行います。

ゲストは西田和昭氏(ぼんちゃん)、中野ダンキチ氏です。秘蔵映像の上映もあるかもしれません(なかったらごめんなさい)。

第 2 部では、ブラボー国際映画祭特別招待作品上映と題しまして、本年度のヴェネチア国際映画祭で招待上映された『ギララの逆襲 洞爺湖サミット危機一発』を上映いたします。河崎実監督もご来場いただける予定です。

そして第 3 部では、「ブラボー国際映画祭グランプリ 2008」と題しまして、一流ビデオメーカー様いちおしの未公開ビデオの予告編上映を行い、いちばんブラボーな作品を決めるコンペティションを行います。司会にはラジアメでおなじみの斉藤洋美さんをお迎えします。

11 月 30 日はベルブホールへ!

みなさんのご来場をお待ちしております。



製作:ギララ2008製作委員会
(松竹、衛星劇場、ウェッジ・ホールディングス、リバートップ、トルネード・フィルム、デフスターレコーズ、ファミマ・ドット・コム)

第18回映画祭 TAMA CINEMA FORUM プログラム一覧

上映作品は予定であり、予告なく上映作品・日程・会場などが変更になることがあります。最新情報はホームページでご確認下さい。

日程	やまばとホール	バルテノン多摩 大ホール	バルテノン多摩 小ホール	ベルブホール	ヴィータホール
11月22(土)	真実をみつめて 昭和史に残る出来事 『明日への遺言』 『クライマーズ・ハイ』 『実録・連合赤軍』		AMERICAN NEW MOVIE 『ダーズリン急行』 『ノーカントリー』 『マイ・ブルーベリ ー・ナイト』	“アウトサイダー” 社会の周辺から問う 私たちの現在 『眠り姫』 『おせいひと』 特別上映 『靖国 YASUKUNI』	河瀬直美を育んだ ドキュメンタリーの世界 『につつまれて』 『きゃからばあ』 『垂乳女』
11月23(日)	世界の映画祭で 賞賛された話題作 『JUNO』 『ゼア・ウィル・ビー・ブラッド』 『潜水服は蝶の夢 を見る』		愛すべき普通の人々 『純喫茶磯辺』 『転々』 『全然大丈夫』	特別上映 『靖国 YASUKUNI』 NOMUSIC NO MOVIE 『タカダワタル的 ゼロ』 『たゆ たう GOOD TIME MUSIC of clammbon 』	それぞれの旅立ち ー先行レビュー 上映特集ー 『かさぶた姫』 『はじめての家出』
11月24(月)	新感覚 エンターテインメント! 『アフタースクール』 『チーム・バチスタ の栄光』 『陰日向に咲く』		歴史のなかのドラマ 『ヒトラーの贖札』 『モンゴル』 『マンデラの名も なき看守』	童貞映画特集 立ち上られ青少年 童貞。をプロデュ ース 『グミ・チョコレート パイン』	第9回 TAMA NEW WAVE コンペティション コンペティション ノミネート5作品 一挙上映& グランプリ発表!!
11月26(水)	終戦直後の日本 Vol.1 『安城家の舞踏会』 『戦争と平和』 『帰郷』			TAMA NEW WAVE ある視点 大人のための ドラマ	
11月27(木)	終戦直後の日本 Vol.2 『帰郷』 『蜂の巣の子供たち』 『安城家の舞踏会』			TAMA NEW WAVE ある視点 等身大で描く	
11月28(金)	運命に翻弄されて 『ラスト、コーション』 『つぐない』			TAMA NEW WAVE ある視点 アーティスティ ック・ナイト	
11月29(土)	昭和の風景 『母べえ』 『ラストゲーム 最後の早慶戦』 『ALWAYS 続・三丁目の夕日』	アクション&アドベンチャー 『インディ・ジョーンズ クリスタル・ スカルの王国』 『相棒 劇場版』 『クローバーフィールド HAKAISHA』 ほか1本	これが私の生きる道 『百万円と苦虫女』 『人のセックス を笑うな』 『ゲーゲーだって 猫である』	近代化中国の現在 『いま ここにある 風景』 『長江哀歌 (エレジー)』	
11月30(日)	ありがとうやまばとホール 『歩いて歩いても』 『たまおのしあわせ』 『オリオン座からの 招待状』	ファミリー・デー 『ポケットモンスター』 『クレヨンしんちゃん』 『魔法にかけられて』 ほか1本	音楽映画特集 『アイム・ノット・ゼア』 『アクロス・ザ・ ユニバース』 『ONCE ダブリンの街角で』	ブラボー 国際映画祭 『ギララの逆襲 洞爺湖サミット 危機一発』 「ブラボー国際映 画祭 グランプリ 2008」	

TAMA NEW WAVE 情報

第9回 TAMA NEW WAVE コンペティションノミネート作品決定！

多数の応募作品の中から1次、2次審査を経て以下の5作品に決定いたしました。

- 「茜さす部屋」 (星崎久美子監督)
- 「へばの」 (木村文洋監督)
- 「ハロー・グッバイ」 (江藤有吾監督)
- 「chain」 (加治屋彰人監督)
- 「太陽が嫌い」 (松村真吾監督)

一般審査員、TCF 実行委員の投票でグランプリが決定します。

TAMA NEW WAVE 一般審査員を募集します！

未来の才能に触れてみたい方はぜひご参加下さい

- ・審査日：2008年11月24日(祝・月)
- ・会場：ヴィータホール(多摩市立関戸公民館 京王線 聖蹟桜ヶ丘駅から徒歩2分)
- ・特典：入場料無料、映画祭パンフレット進呈
交通費・食費などは自己負担となります。
全ての作品をご覧になっていただく必要があります。
詳細はホームページをご覧ください。

特別上映会レポート

去る夏休み最後の日、8/31に『六ヶ所村ラブソディー』上映会を行いました。

2年前から全国各地450回も上映され、(小さい上映会を合わせるとそれ以上)評判を博しつつ、これほどのロングラン上映が行われている作品が他にあるでしょうか？今回の上映会にも、たくさんのお客様にご来場いただきました。

千円札を握りしめて、お一人でいらっしゃった小学生の方もいらっしゃいました。たくさんあった書籍、DVDの山も、ほぼ完売いたしました。ありがとうございました。



鎌仲ひとみ監督



志葉玲氏



ホワイトボードを用いたお話

鎌仲ひとみ監督と志葉玲氏のお話は、大変興味深く、またショッキングで、会場にいらっしゃったお客様も固唾を飲んで一言一句聞き逃すまい。としておられました。

ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました。

TAMA 映画フォーラムからのお知らせコーナー

「第18回映画祭 TAMA CINEMA FORUM」の 運営スタッフ(たまシネマ隊)を大募集!

「1年間を通じて参加するのは難しいけど、映画祭の期間だけでもスタッフとして参加してみたい」

そんな方はぜひ「たまシネマ隊」に参加してみてください。以下の内容で説明会を行います。

ご興味ある方はホームページよりお申し込み頂くか、事務局へお問い合わせ下さい。

「たまシネマ隊」説明会

日時 10月26(日)

午後2時からを予定 (詳細はホームページでご確認下さい)

場所 ベルブ永山

内容 1)映画祭ってどういうイベントなの?
2)たまシネマ隊って何をするの?



昨年の実行委員とシネマ隊@バルテノン

ホームページからか、もしくは電話・FAXで
氏名・住所・電話番号・男女・年齢をお申し出下さい。
(上記日程の出席が難しい方は別途ご相談下さい)。

支援会員制度のお願い

「実行委員やシネマ隊として参加するのは難しいけど、TAMA映画フォーラムを応援したい」
そんな方はぜひ「支援会員」としての応援をお願い致します。

支援金寄付 個人会員:一口1000円

ご協力いただいた方は、インターネットのホームページなどでお名前を掲示します。
ただし掲示を希望されない方は、その旨を郵便振替用紙通信などでお知らせ下さい。

郵便振替番号 00160-5-541123

加入者名 TAMA映画フォーラム実行委員会

(ご不明な点はお問い合わせ下さい)

発行:TAMA映画フォーラム実行委員会

〒206-0025東京都多摩市永山1-5(ベルブ永山)多摩市立永山公民館内

TAMA映画フォーラム実行委員会

TEL080-5450-7204(直通)、042-337-6661、FAX 042-337-6003

<http://www.tamaeiga.org/> <mailto:info@tamaeiga.org>

